

「ケーJ! Ryoma」

阪本龍夫

≪登場人物≫

- | | |
|-------|--------|
| 龍 | 演劇部 |
| リョウ | 演劇部 |
| シン | 写真部 |
| 松 | 生徒会会長 |
| 梅 | 生徒会の先生 |
| 春 | ダンス部 |
| 夏 | 歴史同好会 |
| 秋 | 音楽部 |
| 冬 | ダンス部 |
| 校長先生 | |
| クロスたち | |

【プロローグ】 読経の声が流れてくる。

幕が上がると青い布が広がっている。正面には大きな日の丸、左右には青と黄色の布が下がつている。薄暗い明かりが青い布にあたっている。

激しい風と波の音。布が大きく揺れ出す。布の下でうごめく姿。やがて嵐がおさまってくる。

静寂の後 音楽 「アクア」 坂本龍一

明るい光が射してくる。青い布は捌けていく。龍が起き上がる。

龍 やれやれ。嵐は過ぎ去ったのか。おお、明るい太陽じゃ。あの嵐、よう助かった。仏のご加護じゃ。ありがたい。ありがたい。（合掌する）

リヨウが起き上がる。

リヨウ

あー、なんと！ 助かった。すごい嵐じゃった。死ぬかと思った。

龍

ほんにすごい嵐じゃったのう。九死に一生じゃ。大きな海、ええのう。それに比べて人間はちつぽけなもんじゃ。人として生まれたからには、太平洋のようにでっかい夢を持たんどのう。大嵐にも負けん、でっかい夢をなあ。

リヨウ

でっかい夢とは、大嵐にも負けん、でっかい夢とは何？

龍

日本を今一度せんたくいたし申し候。

リヨウ

ほおー、でっかい夢じゃのう。

龍

おう、そうや。この海の向こうには外国がある。科学が遥かに進んだ国がある。

リヨウ

おんしは誰や？

龍

おんしこそ、誰や？

リヨウ

わしも同じ夢をもつとる。日本を今一度せんたくいたしたい。

龍

ほう、同志じゃ。

リヨウ

ほうじゃのう。

龍

おんしは変わつとるの。

リヨウ

おんしも、な。

龍

変わり者同士か。

リヨウ

わしは平凡じゃ。おんしほどではない。

龍

謙遜するな。変わっててよい。人に合わすだけではダメじゃ。

リヨウ

ははは……お互い様。

龍

じゃあ、二人であの大海原に漕ぎ出すか。

リヨウ

変わった者同士でか？

龍

それは間違いじゃ。我ら、変わつちゅーんやない。

リヨウ

ほな、何や？

龍

個性じゃ。皆、それぞれに生きちゅー。個性があるつちゅーことぞ。

リヨウ

それぞれに生きちゅー……。

龍

おお、そうよ。

【演劇部】

龍はへたり込む。音楽止み、明るくなる。

龍

でもなあ……アカン。

リヨウ

やっぱり変わり者ですかね？ 私と龍先輩は。

龍

変わり者やない。

リヨウ

龍先輩は変わってますって。

龍

俺は真面目な高校生や。

リヨウ

ああ、自分の姿は見る事が出来ない。

龍 鏡があるぞ。
リヨウ 左右逆です。
龍 自撮りすれば見れる。
リヨウ はい！

スマホで撮る。

リヨウ 可愛くない。
龍 そうかあ。

坂本龍馬を描くつて、演劇部、二人しかいないのに、どうするんですか。

演劇は想像力。何でもありや。それに俺は坂本龍、お前は坂本リヨウ。なんとかなる。

またええ加減なこと、言つて。それに、観客、来ないでしょ。（客席をいじる）

弱小演劇部は辛い。だが、お前も俺も、選ばれし者や。

選ばれし？

リヨウ おお、ギフテッドや。

リヨウ 私たち天才ですか？

龍 そうや。

音楽 「ハビット」 セカイノオワリ

リヨウ 天才と普通。分類するのが
龍 間違いよ。

二人は踊り出し、皆も加わって踊る。カメラを抱えたシンが来て、皆を撮っている。皆は去って行く。

シンだけに光。

音楽 「戦場のメリークリスマス」 坂本龍一

【写真部】

シン ロバート・キヤパ、ラリー・バローズ、皆、戦場で亡くなったカメラマン。日本でも一ノ瀬泰造。山本美香、長井健司……たくさんの人がいる。僕も同じように現地で真の姿を撮りたいんや。

龍が来る。

龍 泰造つて原田泰造か？ キヤパつて、観客席の数？ それはどういう人たちだ。

シン 戦場カメラマンや。

龍 戦場カメラマン？ どうして危険を冒してまで、戦場に行くんだ。

シン 「地雷を踏んだらサヨウナラ」や。ロバート・キヤパはインドシナ戦争の取材でベトナムに行き、地雷に触れ死亡。一ノ瀬泰造はカンボジア内戦を取材にアンコールワットに行き、クメール・ルージュに捕まり処刑された。長井健司はミャンマーでデモを取材中に、山本美香さんはシリア内戦を取材中に撃たれた。

龍 命がけやな。

シン ああ、僕はウクライナにも行きたい。何年も戦争が続いて、終わりが見えないウクライナに。それだけじゃない。世界の各地の内乱を撮して、写真で真実を伝えたい。

龍 でっかい、けど危険な夢やな。

シン ああ、龍の夢は？

龍 俺は坂本龍馬になる。

シン 龍馬マニアやもんな。

龍 失礼な。マニアではない。俺は坂本龍。生まれ変わりや。幕末の志士、坂本龍馬。一八三六年一月三

日、土佐藩郷土の家に生まれた。脱藩し、海援隊を作り、薩長同盟・大政奉還の実現に奔走した。武士の世の中を壊そうとした。

夢はでつかく、やなあ。どうするんや。政治家にでもなるつもりか。

まず俺はこの学校を変える。

学校を変える？

学校は窮屈すぎる。我らに自由を！

窮屈かなあ？

龍は演説する。

受験だ。偏差値を上げろ！ 勉強しろ！ 自分の将来を考えろ！ 好きなことばかりやるな。休むな。集団を崩すな。制服をちゃんと着ろ。服装の乱れは生活の乱れの現れだ。きちんとしろ！ そんなことばかり言われてもしんどいよ。なあ。

どうするんや。

まずは生徒会や。今度の選挙、会長に立候補する。

生徒会の会長に？ あの松が会長やろ。

あの松でも出来るんや。シンは応援演説をしてくれ。

無理、無理。僕は話すの下手や。会長になって何をする？

高校生の自由と自治を獲得する。

自治って？

ルールを生徒が決める。

無理、無理。

無理と思っているかぎり、革命は起こらない。

革命なんて、誰も考えてへん。あの松には勝てんよ。

「あの」がつくのは恐ろしい。あの蜷川幸雄、あの野田秀樹。恐ろしい。でも。今となっては懐かしい。⁴

ああ、そうだな。でも僕はにらまれたくない。

勇気ないなあ。会長選挙を助けてくれ。

お前、仲間はおらんのか。

皆、尻込みしよる。

あの松が相手では、なあ。

【生徒会】

照明明るくなる。金髪姿の松がいる。

松 なんてー？

シン ヤバイ。

松 何の用？

シン 別に用はない。

松 呼び出したやろ。

龍 おう、呼び出した。

松 喧嘩か？

龍 そうや。

シン 龍、やめろ。

松 喧嘩やったら体育館の裏に呼び出さんかい。

龍 おう。

松 どうすんねん。やるのか？

シン 二人ともやめろ。

二人はにらみ合い、龍は突然土下座する。

頼む。生徒会の会長、俺に譲ってくれ。

やらんのかーい。

俺は平和主義者じゃ。

先生の当たりもきついやろ。その髪。譲ってやってくれ。

なんてー！ この髪のどこに文句があるんか？

俺らは文句ない。素晴らしい。いや、素晴らしい。度胸あるよ、なあ。

ああ。(二人で拍手する)

この髪はうちのアイデンティティや。

愛がデンデンって？ シン、通訳してくれ。

学校を洗濯するんと違うのか。まずお前の頭を洗濯しろ。

何？ 何？

何のために会長をやりたいんや。公約は？

もちろん、あるとも。まず演劇部の予算を増やす。

ちっちゃい！

弱小演劇部にとっては死活問題や。

広げた風呂敷はそんなもんか。

じゃあ2番目、制服廃止。

おお、それ、いいね。

確かに。

そやろ。そやろ。

梅先生が来る。

制服を正しく着用する。服装は心の鏡。己のわがままに走ってはいけません。

でも先生。

お黙りなさい。

先生、生徒の要求を聞くのが生徒会の役目です。

梅は松の髪をいじる。

会長たるもの生徒の模範になるべきでしょ。松はねえ、模範的とはいえないわねえ。個性が大切です。

いいこと言うねえ。

今から生徒総会に向けて、クラブ会議を行う。集合！

春夏秋冬が椅子を持ってきて、座る。

会長、開会の宣言を。

出席を取りまーす。写真部。

はい。

ダンス部。

はい。

音楽部。

はい。

クラブは以上ね。

夏 梅 夏 梅 夏 梅 龍 梅 龍 梅 龍 秋 梅 龍 松 梅
歴史研究会がいます。
同好会はクラブじゃありません。
じゃあどうして集めたんですか。
今日の議題に関係するのですね。
演劇部もいますよー。
ああ、そうでしたね。
俺のこと忘れんなよ。
出来たら忘れたいわ。ねえ。
酷いわね。(梅がにらみ、秋は視線をそらす)
急な会議はどうしてですか？
しかも全部のクラブじゃない。説明しろよ。松。
うちも知らんのよ。先生、会長にも予告なく会議を開くのは、ルールに則ってません。
そのとおりです。ルールが大切ですね。でも私には権限がある。生徒指導部主任の。さて、皆さんに
は共通点があります。

シン 春 冬 春 夏 秋 松 龍 夏 梅 龍 夏 松 春 シン 夏 龍 梅
共通点？
ないない。私らと写真部や歴史研究会とは、共通するところはあり得ません。
舞台芸術とオタククラブとは、違います。ねえ、先輩。
冬は賢いねえ。
歴史研究は知的な研究よ。オタクって、失礼な。
確かに芸術表現とは違うわね。
なるほど舞台表現と展示は違うわね。じゃあ、演劇部は？
舞台表現や。それも最も総合的な表現や。
なるほど、すごい！
性質は違っても、あなたたちには共通点があります。さあ、クイズです。何でしょう？
正解したら部費、倍増か？
すごい！
そうや、皆、文化部！
ダンス部は文化部？ 運動部？
いちおう文化部の仲間や。
もったいぶらずに教えろ。
ヒントを与えます。クラブには規約があります。つまりルールですね。

梅は規約の冊子を出して読む。

梅 シン 春 冬 梅 夏 梅 秋 龍 春 冬 春
「生徒会クラブ規約第一条。クラブは部員5人以上を必要数とする。」5月現在、あなたたちの部の部
員は何人ですか？
僕……だけです。
二人です。
先輩、がんばりましょ。うふ！ (二人でポーズ)
歴史研究会は？
私だけ。
音楽部は？
今のところは、一人です。
演劇部は2人。それでも多い方か。
2人、ダンス部と同じや。
はい！ うふふ。(ハイタッチで3人盛り上がる)
あれ？ もう一人は？

梅 龍

リョウか。あいつ、いつも単独行動やから、困る。
お静かに。会長。クラブ規約の第二条はどう書いてありますか？

梅は松に冊子を渡す。

松

第二条ですか……。

梅

早く読みなさい。

松

はい……「生徒会クラブ規約第二条。部員5人に満たない場合は……廃部とする。」です。

梅

ということは？

龍

俺たちのクラブを潰すというのか。クラブ紹介もないのに。仕方ないやろ。コロナになってクラブは、特に文化部はしんどいんや。

秋

よく考えて下さい。

梅

法治国家って言葉の意味、分かりますか？

春

国を法で治めるということ。

梅

分かってるじゃない。だったら、とるべき行動は分かりますね。国も社会も、学校も決められたルールに則って行動せねばなりません。ねえ、会長。

松

は、はい。

龍

持って回った言い方をせんと、潰したいなら、ハッキリと言えよ。

梅

分かってください。そんなつもりはありません。悲しいことです。せつかくの文化部がなくなるのは避けたいんですが。

松

先生、まず生徒会執行部で話し合いたいんですが。

梅

早く今年度の予算を決めないと、いろんな運動部から苦情が来ますよ。

夏

権力の横暴や。

龍

ちゃんとした会議で決めるべきやろ。

梅

演劇部部长、残念ながら、会議で決めることではないんです。規約、ルールで決定することです。⁷

龍

問答無用ということか。

梅

そんな切り捨てるようなことはしません。

龍

が、……か。厄介ものは排除するんや。

梅

人聞きが悪い。いいですか。生徒会は、いや学校は生徒全員を平等に、大切に扱う必要があります。

シン

決してえこひいきはしない。ですから、ハッキリとルールを定めてですね。

梅

弱小クラブなんか、どうでもええんや。

龍

一人や二人だけで何が出来ますか？ 何か文化的意義があること、出来ますか？

梅

出来るとも。なあ。シン。

龍

ほお、では見せて下さい。

照明変化

音楽 「黄土高原」 坂本龍一

シンが立ち、真ん中に出る。

シン

写真は一人でも、真実を伝えることが出来る。僕はレンズを通して、世の中の見えない現状を伝えま

梅

それだけですか？

シン

カメラは真実を伝える。皆の目の届かない弱い人々の姿。戦争で苦しむ人たちの姿を伝えることが出来ると思うんです。

梅

崇高な精神ですね。

シン

はい。

梅

でも簡単には心に響きませんね。展示を見に来てくれないと始まりませんね。では、次。

夏が出る。

夏 歴史を見れば、人間の本质が見えてきます。あらゆる学問は大切ですが、過去から学ぶことの出来る
梅 歴史研究会はクラブとして、大きな意味あるものです。
夏 それは授業でも学ぶことが出来るのではないですか。
梅 授業で教えることは当たり前障りのないことばかりで、退屈で……。
夏 私、日本史を教えているのですが。
梅 す、すみません。

夏は引つ込む。

梅 後はどうですか？ 舞台表現なら出来るかな？
春 冬、やるよ。
冬 はい。

音楽 「GIRI GIRI」 新しい学校のリーダーズ

二人は踊り龍も松も乱入する。梅も踊りたい様子をガマンできず乱入する。が、拒否される。

梅 失礼！ ほほほ。素敵！ いいわね。ダンス部は残す価値があるかなあ。
冬 やった！

梅 これでダンス部は大丈夫！ あ、皆、ごめん。
春 でも、ルールはルールだから。ねえ。音楽部は……どうせダメでしょ。
秋 いえ、音楽は人々の心に、安らぎや勇気を与えます。

秋はピアノを弾く。(曲はなんでもいい。バリバリに激しく)

シン すごい！

龍 先生、これでも潰すんですか？
梅 素晴らしいわ。もったいないけど……でも、ルールがある以上、ねえ。
冬 ルールなんて、どっかに飛んでいけ！
龍 いいねえ。いいねえ。元気いいねえ。
冬 はい！

龍 じゃあ、次は演劇部が……だけど、ちょっと待ってください。

梅 どうしましたか？
龍 リヨウが……。探してきます。

梅 こんな重要な時に部員がいないんですか？ そんな甘い姿勢ではねえ。どうせダメでしょ。
冬 私、演劇部にも入っちゃおうかな。

春 何言ってるの。

冬 だってなんかカッコいい。

春 そんなの裏切りよ。ダンスはどうするの？

冬 先輩も一緒にやりましょ。

龍 おお、いいねえ。

春 え？

龍 ダンス演劇部になればいい。音楽部も合体したら5人になるぞ。文化部合体や。

秋 演劇に音楽はつきものですね。私でも役に立ちますか？

梅 ダメです。勝手に合体なんて、ルール違反です。

シン やっぱりどうしても潰すつもりなんですネ。

梅 そんなに怒らないで。だって、そのために会議を招集したんですから。

龍 皆、黙ってるのか？ こんな横暴、許して良いのか？ 松、何とか言え。会長だろ。

松 簡単には行かへんわ。今から規約を変えるのは……。

龍 皆、自由を守るために立ち上がるんだ。なあ、皆。

松 うちにどうしろと言うの。

龍 生徒会も立ち上がってくれ。

梅 勝手なことは許しません。校長先生に言いますよ。

龍 歴史は語っている。権力に沈黙すれば、自由は失われる。立ち上がれ！

夏 そうよ。過去は示している。

龍 若者の力を示そう！ さあ！ 立ち上がれ！ 文化祭で一緒に舞台を作ろう。

シン どうしてもやるのか。

龍 ああ、シンも立ち上がれ！ 一緒にやろう。松も、お願いする。

シン ああ！

松 やってやるか。

春 皆でやろう！

冬 カッコいい！ （ダンス部は盛り上がっている）

龍 さあ！ さあ！ 弱小文化部、集まって、文化祭で劇をぶちあげようや。

梅 やめなさい！ あなたたちのためのよ。

梅は走り去る。

龍 生徒に自治を！ クラブに自由を！

龍は煽っていく。皆は声を上げ始め、騒いでいる。だんだんと盛り上がり、サッカー応援の
ように騒いでいる。

【群集心理】

デモの声が流れて高まる。

突然ホイッスルが鳴り響く。全員ストップモーション。中央奥にリョウが登場。

照明変化。リョウと目の丸だけに明かり。

リョウ

盛り上がるのは楽しい。特にスポーツは盛り上がる。オーレ！ オーレ！ オーレ！

全員影のまま、「オーレ、オーレ」と盛り上がりながら去っていく。

リョウ

Jリーグが始まって三十年、一気にサッカー熱が盛り上がった。オリンピックも、ワールドカップも。そしてWBCも盛り上がった。でも演劇は……アカン。いつまでたってもアカン。盛り上がらない。あれ？ 龍先輩、劇、ここからどうするんですか？

龍が来る。照明変化。明るくなる。

龍

盛り上がりたいたいなあ。もっと多くの人に演劇を、俺らの芝居を、知って欲しいなあ。

リョウ

ずっと弱小クラブや。くじけそうになる。

龍

アカン。挫けたらアカン。龍馬さんも言ってる。「人生は一場の芝居だというのが、芝居と違う点が大き
くある。芝居の役者の場合は、舞台は他人が作ってくれる。」

リョウ

「生の人生は、自分で自分のがらに適う舞台をこつこつ作って、その上で芝居をするのだ。他の人が
他の人が舞台を作ってくれやせぬ。」

龍

よく知ってるな。

リヨウ 当たり前。私の愛する龍馬様の言った言葉は、私の道しるべ。
龍 俺らもいい舞台を作るんだ。「気分」の怖さを描くんだ。

リヨウ 気分？

龍 気分、世間の評判は怖い。龍馬はこうも言ってる。「金よりも大事なものに評判というものがある。世間で大仕事をなすのにこれほど大事なものはない。」

リヨウ 評判が高まれば、人々はついてくる。

龍 だから恐ろしい。

リヨウ どうして？

龍 気分で動くからだ。スポーツの盛り上がりは国が利用する。なかでもオリンピックは愛国心を高める最高の舞台だ。さあ、劇を続けるぞ。

音楽 「TONG POO」 坂本龍一

照明変化。

シンが登場。

シン 1936年ベルリンオリンピックはナチスドイツが主催した。ヒットラーはドイツの、いやナチスの権威を示そうとした。ドイツの人々はヒットラーの演説に狂喜乱舞した。そしてヒットラーは1939年、世界を支配しようと第二次世界大戦を始めた。

コロス（春夏秋冬、松と梅）が「オーレ、オレオレ」と赤旗を振り、盛り上がりながら行進してくる。シンはその姿を撮影する。やがて「ハイル！」と変わっていく。

コロスたち ハイル！（連呼しながら右手をかかげる）

リヨウ やめる。やめるんだ！ 踊らされてはいけない。

龍 ドイツだけではない。

シン スポーツする人の心は純粹だ。だが、どうだ？ ロシアはどうしてドーピングを国が組織的にやるのか。それは国家の力を誇示するためだ。

コロスたち ウーラ！ ウーラ！ ウーラ！

リヨウ 汚すな！ スポーツは神聖なものだ。

龍 日本も1940年札幌の冬季オリンピック、秋には東京オリンピックを開催することになった。国の力を示すためだ。

シン だが、戦争で幻のオリンピックになった。

龍 戦後の復興を示すために東京オリンピックが開かれた。1964年。

シン 国を背負って戦う選手にのしかかる重圧。期待を裏切った結果の時に浴びせられるバッシング。スポーツは楽しいものではないのか？

コロスたちは目の丸の小旗を振っている。

コロスたち 万歳！ 万歳！（連呼する）金メダルだ。万歳！

龍が走っている。

音楽 「一人の道」 ピンクピクルス

コロスたち ガンバレ！ 円谷！ あと一周だ。抜かれるな。危ない。イギリスが追いかけて来るぞ。走れ！
走れ！ 走れ！（連呼）

龍（円谷）がフラフラになりながら走ってゴールする。

コロス　なあんだ、銅メダルか。
 コロス　あとちよつとで銀メダルだったのに。
 コロス　ガッカリ！
 コロス　金メダルじゃないのか、なあ。
 コロス　税金、使つて走つてんだろ。
 コロス　ガッカリ！
 コロスたち　ガッカリ！
 リヨウ　やめろ！　仕方ないじゃないか。あんなに必死に走つたんだ。どうして責めるんだ。
 コロス　ガッカリ！　やめてしまえ。
 コロス　やめろ！
 コロス　やめてしまえ。
 コロス　国の恥！
 コロス　やめてしまえ。
 コロス　やめてしまえ。
 コロス　やめてしまえ。

日本のためのメダルじゃない。俺の、俺のためなんだ。でも……申し訳ありません。

龍は土下座して頭を地面につける。
音楽が消えていく。

うわあー！

龍はがつくりと去る。

リヨウ
シン やめてくれ。やめてくれ。こんな劇は、怖い。
リヨウ ああ、集団心理は恐ろしい。
シン 楽しいはずだろ。楽しいからやってるんだろ。だのにどうして。
リヨウ スポーツは体育なんだ。スポーツを使つて教育する。教育なんだ。だから国という大きな力がのしか
シン かつてくる。
リヨウ そして潰される人々。
シン レンズの向こうに見える景色は不気味だ。
リヨウ 何が見える？
シン 世間の真実だ。レンズは嘘をつかない。
リヨウ 怖くないか？
シン 怖い。
リヨウ 何が？
シン 気分だ。世の中の雰囲気だ。それを描くんだろ。
リヨウ 意思ではないのか？
シン 気分が意思になる。そして大衆は氣分に操られる。だから僕は眞実の姿を撮つて、伝えるんだ。
リヨウ 危ないぞ。やめろ。
シン だからこそやるんだ。
リヨウ それを劇にするのか。
シン ああ。そうだ。

リョウ じゃあ、走れ！ 気を付ける。
シン 劇を続けるぞ。

二人は走り去る。

【戦場カメラマン】音楽 「A Carved stone」 坂本龍一

照明変化。舞台はジャングルのように。

クロスたちが出てきて、密林を表現する。帽子をかぶったシンが出てきて。樹木の間を縫うように歩く。鳥のコーラス、フラミンゴの音が響く。シンはびっくりしてこける。

シン 東南アジアの密林はこんなに深いのか。

シンは恐る恐る歩いていく。密林も動く。布の奥から男の声。

男の声（龍） 動くな！ 撃つぞ！（クメール語で）

シン アンコールワット？

男の声（龍） 撃つぞ！

シン チョポン チョポン（日本人だ！）

銃声が響く。

シンはスローモーションで倒れていく。クロスたちはシンを仰向けに寝かせ、手を合わせて去る。リョウが登場する。

リョウ だから気を付けろって、言ったのに。

夏が登場する。

夏 一ノ瀬泰造はカンボジアでクメール・ルージュに処刑された。でも歴史は語っている。冒険が文化を
リョウ 冒険が？
夏 そう。古いものを壊すことで、新しくなる。歴史が証明している。宗教革命もフランス革命も、あら

ゆる革命、日本でも明治維新。でも危険が伴う。

リョウ 危険が……。

夏 夢や希望を持った若者の力が革命を進める。そして犠牲になるのは、いつも若者だ。

リョウ 若者が犠牲……。

世の中を変えようとする若者。革命を起こそうとした若者。戦争で戦う若者。

シンが立ち上がる。音楽、終わる。

シン そんな若者を記録して、伝えたい。この劇の龍馬も若者だ。

夏 危ないよ。狙われるよ。

シン 記録して、皆に写真を見てもらいたいんだ。

【学校】

授業のチャイム。照明変化。舞台の中央だけ四角に光。

シンが残り椅子を持ってきて座っている。校長先生（龍）が日の丸に頭を下げて出てくる。

校長 君かな。写真展示をしたいと言っているのは。

シン はい。

校長

文化祭で展示したいのか。
はい。

校長

直接校長に直訴というのは、どうかな？
え？

校長

ルールがあるだろ。生徒会を通すべきじゃないのか。
はい……でも先生が聞いてくれなかったのだ。

梅と松が急いで来る。

梅

校長、申し訳ありません。

松

失礼します。

校長

おお、生徒会長、ご苦勞様。で、どういうことですか、先生。

梅

ダメだつて言つたでしょ。勝手なことして。

校長

まあまあ。生徒会も大變だね。

松

いえ、やりがいがあります。

校長

遅いね、いいことだ。

松

こういう御用でしょうか。

校長

おお、そうだ。そうだ。そうだったね。文化祭のことだけど、準備は進んでいるのかね？

松

まだまだ、これからです。

校長

そうですか。いやあ、頑張ってくださいね。……ところで、写真部の要求はどうするの？

梅

それはダメです。

校長

私は会長に聞いているのです。

梅

はい。

シン

過去の戦争を撮影した写真や、天安門事件やウクライナの写真の展示です。

校長

ほお、どうですか？ 会長……川北君だったかな？

松

川口です。ありきたりな展示よりはいいかなって。

梅

会長！

校長

まあまあ、生徒の声を大切にしないとね。賛成ですか？

松

はい。

校長

今時の生徒には乏しい発想だ。いいねえ。

シン

ありがとうございます。

校長

ですが……もうちょっとねえ、賢くなって欲しいんだよ。

シン

どういふことですか？

校長

文化祭にはいろんな方々が来られるからねえ。保護者の皆様も、来賓の方々も。

松

はい……。

校長

ということは、いろんな考えの方がおられるということだ。

シン

何を言いたいんですか？

校長

まあまあ、落ち着きなさい。

シン

落ち着いてます。

校長

治安を乱す恐れのあるものは、困るんだよ、ねえ。ああ、そうだ。会長、演劇部とダンス部、さらに

松

は音楽部に歴史研究会が一つになりたいと言ってるんですか？

松

はい……。

校長

それはいいと思ってるんだね。

松

人数が少ないクラブが合同すれば、文化祭でも……。

梅

勝手なことを言わない。

校長

まあまあ、大切な意見だ。……でもどちらも難しいねえ。

松

え？

校長 両方とも、皆が、いろんな人が、理解し賛成してくれるかね。政治的なことはねえ。

シン 悲惨な戦争の記録が政治的なんですか？

校長 ソーシャルデスタンスだよ。あ、今はもう必要ないのかな。文化祭はいろんな人が集まる。精神的にソーシャルデスタンスを守らないとね。近づきすぎてはいけない。つまり客観的にならないとね、ダメなんですか？

校長 いや、難しいとね、思うんだがね。どうかね。

シン どうしてですか？ どこがダメなんですか？

校長 分かるだろ、天安門事件は中国の政治的な話だ。

シン わたしたち高校生はよく知らないダメだと思っんです。

校長 高校生で政治的な活動は、ふさわしくありません。そうだ、この前、国家安全法が成立しましたね。え？ それが何か？ 僕たちは文化祭でやろうというだけです。政治活動になりますか？ ただ皆に知って欲しいと思ってるだけです。やめろとおっしゃるんですか？

校長 そんな強制的なことは言ってません。よく考えた方がいいと思っんだよ。ダメなんだよね。賛成してくれる人ばかりじゃないが、クレームをつける人があるのは、学校としては…

松 何でもいいなりになればとおっしゃるんですか？

校長 やれやれ、若いねえ。中国のことでしょ。君たちには関係ないのじゃ……。それにあまり目立つことは、君にとってよくないと思っんだがね。

松 え？ どういうことでしょうか。

校長 今は大変な時代だ。昔と違って、嘘もデマもすぐに広がってしまう。SNSって怖いねえ。何が本当なのか、嘘なのか、誰も考えずに信じてしまう。

松 何の話ですか？

校長 知らないのですか？ 私の立場だと、いろんな話が、いろんなところから入ってくるので、困ってます。

松 わたしに関係することですか？

校長 いや、知らなければいいんだ。

松 教えてください。

校長 気にしないでいいんだよ。

松 奥歯に物が挟まったような言い方はやめてください。

校長 君の服装や頭髪に対する苦情がね……。風紀が乱れると……。

松 金髪も個性だと認めてくれてたんじゃないんですか？

梅 やめなさい。

校長 確かに個性だと認めていたんだが、いかがわしいことをしてるんじゃないかって。SNSでね……。

授業のチャイム。

校長 おお、もうこんな時間か。いや、時間を取らせたね。国家安全法を守る……大変なことだ。

校長はそそくさと去る。

梅 え？

松 やってられへんわ。

梅 校長！ お待ちください！ 申し訳ありません。校長！

梅は校長を追いかけて去る。

松 どうすんの？

シン どうしたらええんやろ。

松 龍の言う通りや。黙ってたらアカン。
シン 龍と一緒に、劇やるのか？
松 こんなままは、悔しいから。
シン 龍と松が手を組むなんて、まるで薩長同盟やな。
松 ちよつと言いすぎや。

皆は去る。

【寺田屋事件】 音楽 「1919」 坂本龍一

夜の光景。 あちらこちらから呼び笛の音が響き、懐中電灯の明かりがあちらこちらを照らしている。黒い追手の影が走り回る。

影 探せ！ 逃がすな！
影 龍馬を逃がすな！
影 どこだ！
影 どこだ！
影 追え！

リョウが来る。

リョウ 1866年1月、薩長同盟の密約が成立した。そしてそれを主導した龍馬は狙われた。伏見の寺田屋にどまつていた時、襲撃され、両手を切られた。

リョウは走り去る。

影 龍馬を逃がすな！
影 どこだ！
影 探せ！ 逃がすな！
影 どこだ！
影 追え！

影たちが走り回る、奥の幕の間から女物の着物をかぶって龍が出てくる。

影 いたぞ！
影 龍馬だ！

影と龍馬のかけつこが展開される。女物の着物をかぶったリョウが出てくる。

リョウ 危ない！ 助けたを呼んで龍馬を救ったのは妻のおリョウ。え？ 私と同じ名前や。
龍 助かった。それでこそ俺の惚れた女房。
リョウ うれしいような、ん？ なんか恥ずかしい。
龍 行くぞ。

二人は走り去ろうとするが、影（松）と出くわす。

龍 あれ？ なんでや。
リョウ 段取りが違うよ、

リョウはホイッスルを吹く。
音楽止まり、明るくなる。

【闘争】

龍 皆、出てきて。

影たち（春夏秋冬・シン）が出てくる、皆、へばっている。

龍 松が段取りを間違った。

夏 えー、会長。しっかりしてください。

秋 疲れるわ。演劇も厳しいんや。

シン こんなに走らんとアカンのか？

龍 ありがとう。皆と一緒に舞台を作れるなんて、うれしいなあ。なあ。

リョウ はい。今まで二人だけやったから、にぎやかです。

春 疲れるけど面白いね。

冬 ダンスとは大違いだけど、同じですね。

春 ん？ なにが？

冬 お客さんに見てもらいたいです。

龍 ホンマや。文化祭で全校生徒に見てもらったら、新しい部員増えるかもな。

松 そんなにうまく行くか。

龍 何の志も無きところに、ぐずぐずして日を送るは、実に、

リョウ 大バカモノなり。

龍 いつでも前を向く。倒れるときは、前を向いて倒れるんじや。

リョウ ほんまじや。

龍 いろんな若者が亀山社中で力を合わせた。俺らも、な。

夏 亀山社中、後の海援隊ですね。

秋 え？ 武田鉄矢？

リョウ 違ーう！

龍 武田鉄矢も龍馬を尊敬してたんや。

夏 大同団結ですね。

冬 どういう意味ですか？

夏 自由民権運動で後藤象二郎が唱えたんですね。

シン さすが歴史研究会。

夏 いろんな会派が力を合わせることを唱えた。でも……。

龍 政府の弾圧で潰され、分裂した。

シン おいおい、嫌なことを言うな。俺らは大丈夫。

龍 ああ。

秋 ですか？

春 うん。

冬 怖い。

夏 歴史は繰り返す……なんてことないわ。

リョウ 文化祭の大同団結、やりましょ。写真展示も。

シン ああ。

松 今さら後には引かれへん。

呼び出しチャイム。

梅の声

生徒会会長。今すぐ職員室に来るように。

龍 ヤッペー、怒ってるぞ。
冬 怖い。
秋 まずいですか？
松 大丈夫。行ってくる。
龍 心配するな。骨はひろってやる。
松 やさしいな。でも命まで奪われることはない。
シン 男前やなあ。
松 なんてー！
シン いやいや。
龍 俺らも行くか？
冬 大丈夫ですか？ 火に油ではないですか？
松 ふふふ、面白い。日に油を注ぐと、どうなるんですか？
爆発よ。
夏 芸術は爆発だ！ バイ・岡本太郎。
冬 爆発だ！ 爆発だ！（と言いながら爆発踊り）
龍 ほお、面白い。
春 度胸ある、後輩です。
夏 どうせなら皆で行きましょう。
龍 弱小文化部のご挨拶か。
松 やってること、バレてるしな。
龍 ほお、面白い。
秋 ここ、空っぽにして大丈夫か。
龍 私、残ってます。
冬 頼む。盗られるものないけど、な。では、行くか。

皆は出て行く。秋はキーボードを弾く。（坂本龍一の「戦場のメリークリスマス」）
照明変化

秋 坂本龍一さんが死んだ。……。1952年1月17日東京に生まれる。新宿高校の時に学生運動の渦に巻き込まれ、校長室をバリケード封鎖し、制服制帽の廃止を実現する。坂本龍馬も坂本龍一さんも、どうしてそんなに闘ったんですか？

呼び出しチャイム 照明が戻る。

梅の声 坂本龍、坂本リョウ、会長、えーと、その他、勝手な行動をとるな。戻ってこい。乱暴な言葉ですみません、校長先生。皆さーん、戻ってらっしゃい。（やさしく）

龍と松、シンが戻ってくる。

龍 あほちゃうか。松、どうなってるんや。
松 私、何も聞いてなかった。
龍 文化祭を廃止する？ そんなんアリか？ 今さら。
シン 僕らがやめる口実を与えてしもたんや。
龍 口実？ 俺らがか？ 文化部が力を合わせるのが悪いんか？ 高校最後の文化祭を盛り上げようとしただけやろ。

松 先生方、大学進学実績が低下したって、心配してたから。
龍 そんな理由で文化祭を無くすんか？ やっとコロナが収まってきて、さあやろうところなのに。

シン
龍 やつと最後に文化部が集まったのになあ。
勉強、勉強か。会長、なんとかしてくれ。

呼び出しチャイム

梅の声
松 会長、戻ってきなさい。
もうウンザリ。

松は金髪のかつらをとる。

秋 先輩、かつらやっただんですか。
松 地毛やと思ってた？
シン いつの間にかつらに？ 染めてたんやろ。
松 3年になってから。
龍 どうしたんや？ 金髪女子がお前のトレードマークやろ。
松 ああ、うちのウリや。
秋 最初びつくりしました。金髪の生徒会会長なんてすごいと思って。
松 まあ、これでも大学進学希望やから。
龍 推薦のためか？
松 まあな。
シン 入学式の時、僕もビックリやった。
龍 しかも生徒会長になるなんてな。

呼び出しチャイム

梅
シン 松、戻りなさい。
どうする？

呼び出しチャイムが連続する。

梅の声
龍 早く、早く。早くしなさい。
うるさいなあ。
松 やってられへん。もう爆発や。バーン！
シン どうした？
松 やめた、やめた。あほらしなった。
龍 投げやりやな。
松 ああ……。
シン どうした。
松 はい、質問がある人？
龍 お前、会長、何のためにやっただんや。
松 会長やのに金髪なんて、おかしいと思ってたやろ。
龍 ああ、もちろん。我を通す気の強いやつやなあ。なあ。でも自由でよし！
シン そうやな。
松 宣伝や、学校の。
龍 は？
シン 自由な学校、個性を大切に作る学校。生徒募集のウリ文句や。
宣伝に利用されたってことか？

松　　うち、特待生で入学したんや。
龍　特待生って、お前そんなに頭よかつたんか。
松　イエーい！　……母さん、喜んで。授業料も免除やし。でも……校長先生に言われた。
シン　髪を黒くしろってか？
松　逆。そのままでもいいって。そのままで生活しろって。それが学校のためになるって。
龍　いつもルール、ルールってうるさいのに？
松　訳わからへんやろ。……それで会長やれって。会長なんてガラちゃんやけどな。
秋　先輩、すごいです。
松　そやのに文化祭廃止なんて大切なこと、何も言わんと。どうなってるんや。

呼び出しチャイムが連続する。

梅の声　何してるの。松。
龍　ええかげんにしろー！
松　ホンマ、梅先生、イラチなんやから。

リヨウと春夏冬が急いで来る。

夏　ヤバいですよ、どうするんですか？
春　せっかく練習始めてるのに、私らのことわかってるのかなあ？
リヨウ　弱小クラブのことなんか、考えてくれへん。
龍　松、どうにかならへんか？
松　生徒会に権限なんてないよ。
秋　黙っているのは、従うのと同じ。
シン　どういうことや。
龍　抗議するんや。
シン　どうやって？
秋　坂本龍一さんは校長室を占拠した。
冬　過激！
龍　おお。それや！　バリケード封鎖！
春　大騒ぎになりますよ。
龍　大騒ぎにして、皆に訴えるんや。文化祭廃止反対！って。皆が賛同してくれたら、生徒総会を開いて、
夏　そんな時代と違うよ。
冬　楽しそう。
リヨウ　真剣に訴えたらなんとかかりますか？
龍　ああ、な、松。
松　うわあー！　頭が爆発しそうや。
冬　バアーン！　あははは……。
シン　僕らだけではどうしようもないよ。
龍　慎重もええが、思い切ったところがなきやいかん。慎重は下僚の美德。大胆は大将の美德じゃ。よく
リヨウ　考え、動け。動くんじゃ。
龍　龍馬さんの言葉は真実やけど、やはり慎重でないと……。
龍　何言うとんじゃ。男は度胸ぞ。
松　男も女もない！
冬　ですよねー。
龍　俺らと生徒会、力を合わせて学校を変える。なあ、大同団結、いや薩長連合や。そして文化祭を生徒
会主催にする。どうや？

シン そんなこと、大丈夫なんか？
龍 ああ、間違ったことするんやない。松。やろうぜ。
松 よっしゃー！ やるしかない。
リョウ でも……。
龍 皆はどうや？

秋 やりましょ！
冬 やりましょよ、先輩。
春 文化祭、やりたいし、な。
龍 よっしゃー！ うまくいったら大政奉還や。
シン 闘うのか。

夏 昭和の学生運動みたい。
冬 坂本龍一さんと同じや。
龍 カッコいい。
皆 大政奉還、大政奉還。皆、ほれほれほれほれ！
大政奉還！ 大政奉還！ 文化祭！

呼び出しチャイムが連続する。
音楽 「迷えば尊し」 新しい学校のリーダーズ
皆は踊りながら椅子を持ってきたり、段ボール箱を袖から持ってきて、バリケードを作る。
龍は段ボールからヘルメットを出してかぶり、ハンド拡声器を持つ。

龍 俺らは闘うぞ！ 文化祭を守れ！ 文化部を守れ！

梅 梅が来るが、止められて入れない。
何してるの？ やめなさい。やめなさい。校長！

【龍馬暗殺】
梅は走り去る。皆も踊りながら去り、龍だけが残り、横になっている。
照明が暗く、かすかに龍に光が当たる。
読経の聲が流れてくる。龍は身を起こす。

龍 藤吉、藤吉。どないした。
黒い影がゆつくりとゆつくりと忍び寄り、龍を囲んでいく。

龍 にぎやかじゃのう。何をしちよる。
黒い影がゆつくりと迫ってくる。影たちがささやくような声で

影 死ね。
影 己が正しいと思うな。
影 お前のせいで我らは
影 道を失った。
影 死ね。
影 世の中を煽りおって。
影 人は気分で流されるが、
影 恨むものもいるのだ。

影 許さん。

影 勝ったと思うな。

影 死ね。

影たち ははは……。 (低い声でかすかに嘲笑う)

龍 は体を起こし、正座する。

龍 **読経の声が少し高まる。**

龍 藤吉、ほたえな。

黒い影が襲い掛かる。倒れる龍。影たちは倒れた龍を見下ろし、去る。

龍 まだじゃ、まだ途中なんじゃ。

龍 は前向きに突っ伏して倒れる。

龍 **読経の声が高まり、突然止まる。**

リヨウ 誰が龍馬を暗殺したんだ。

刀を持ったリヨウが佇んでいる。

龍 **授業のチャイム。少し薄暗く嫌な沈黙。明かりが点く。**

龍とリヨウ・シンが座っている。春夏秋冬も沈黙している。

【分裂】

龍 龍馬が生きてたら、歴史は変わったかなあ。

リヨウ そうですね。戊辰戦争も西南戦争もなかったかも。いや、日清・日露戦争もなく、平和な日本だった²¹かもしれない。

龍 どうして龍馬が暗殺されんや。

リヨウ いろんな説があります。幕府側、薩摩の西郷、後藤象二郎とか。

龍 日本のために働いたのに。

リヨウ 恨みを買うんです。何かおっきいことをやったら、誰かが恨む。

龍 平和と自由を望んだ龍馬をか？

リヨウ 出る杭は打たれる。

冬 ああー、お腹すいたあー。

夏 何か見通しはあるんですか？

龍 そやな……。松が生徒会を動かしてくれるのが頼みの綱や。でも、遅いな。

シン 静かや。どうなってるんや。

春 誰も学校にいないみたい。

龍 おかしい。松は戻ってこないし。

夏 見通しもないのに校長室を占拠したんですか。

龍 お前らも賛成したやろ。

冬 ノリですよ。ノリ。

春 だって、煽るから、なあー。つい。

冬 そうですよ。

龍 俺が悪いのか。

シン おかしい。校長室を占拠しても、何の反応もないなんて。

秋 変です。気になります。

リヨウ 何が？

秋 校長が言ってたでしょ。
龍 何のことや。

秋 国家安全法。

夏 正しくは国家安全維持法。秩序を乱す者は誰でも逮捕できる。香港騒動の時に中国で作られた。同じようなのが今年国会で成立した。

春 怖い。いつの間にそんな法律が？

リョウ 皆、無関心やから。

龍 ますます窮屈になって、自由を求めることも犯罪になるのか。

秋 坂本龍一さんの時とは時代が違うんです。

夏 今は自由や権利を声高に主張しても、無意味なんですよ。

秋 皆、自由と思ってる。

間（皆、考え込んでいる）

冬 もう早く帰りたいー。

龍 皆で、大同団結やろ。

冬 もうやめ！ 帰る。

冬は出て行こうとする。

龍 待てよ。

龍は冬を止めようとする。

冬 いや！ 放して。助けて！

リョウ 龍先輩、やめてください。

冬 痛い！

シン やめろ。

龍 すまん。

春 暴力はやめて。

龍 違う、違う。引き止めようとしただけや。

秋 セクハラになりますよ。

龍 違うって。

松が来る。

松 怯えてる？ どうしたの？

龍 帰ろうとするから、止めただけや。

冬 腕をつかまれて。

松 ひどいことをするな。

龍 いやいや、俺は……。

夏 嫌がってたでしょ。

秋 やはりセクハラになりますよ。

春 楽しいことやるのが目的なんですよ。こんなの楽しくない。

龍 皆で闘うんや。

リョウ 先輩が間違ったんです。気分なんです。龍先輩は気分を。ムードを煽ったんや。

シン 軽く高まる「気分」は怖い。お前自身が言ってたやろ。

リョウ 坂本龍馬も仲間内から憎まれたのかもしれない。
龍 え？

リョウ 今の龍さんはまるで……。
龍 まるで、何や？

秋 リョウ 権力をほしがる男みたい。
龍 独裁者、ヒットラーみたい。
まさか……

シン 自分のことを偉いとうぬぼれてないか。

夏 立場が変われば、人間は変わるもの。歴史が証明している。
龍 そんなことはない。俺は変わってないぞ。

シン 自由と個性が大切なんやろ。
龍 ああ。そのために、皆のために……

シン 独りよがりになってないか。
冬 今の先輩、怖いです！ もう嫌！

龍 俺が悪いのか。

龍はガックリと座り込む。バリケードの外に梅が来る。

梅 皆、何をしているの。

松 先生。どうして？
梅 入れて。お願い。

シン いい？
梅 どうぞ。

梅は入る。

松 さっきは何にも言ってくれなかったのに。

梅 校長の手前、自由に話せなかった。ごめんね。
龍 何しに来たんですか？

梅 あんたがそそのかしたんでしょ。こんなことして、危ないわ。
龍 危ない？

梅 お願い、早くここを元に戻して、家に帰るのよ。
龍 文化祭はどうなるんですか？

梅 こんなことして、文化祭が無くなるだけじゃすまない。皆を危険にしてる。
リョウ どうなるんですか？

梅 ホントにバカなんだから。
龍 こんなことしか方法がなかったんや。

梅 ホントにバカ。文化祭は無くさない、任せて。
秋 信じていいんですか？

梅 私、生徒指導部主任ですから。
リョウ ほお、カッコいい。

松 校長先生は大丈夫ですか？
梅 校長は行事の大切さは分かっている。ただ学校の治安を守りたいの。教育委員会の手前ね。だから、こ

秋 んなこととして口実を与えちゃダメ。
梅 何の口実ですか？

シン それは……。
梅 どうしてこんなに静かなんですか？

梅 ……準備中なの。
龍 何を準備してるんだ。
梅 私、頼んでここに来た。突入を待ってもらってる。だから、早くここから出て。
夏 警察？
シン やっぱりもう止めよう。映画やドラマと違う。うまくいくわけない。
リョウ 龍先輩、止めましょう。止めなければ、私が斬りますよ。
松 うち、怖い。全部壊れてしまうような気がする。
夏 もう止めましょ。
秋 時代の流れは止められないのよ。
龍 すまん。俺が単純で。
シン それが龍のいいところや。
龍 すまん。この通りや。（頭を下げる）
リョウ でも、無念や。劇、最後までやりたかった。
龍 そうやな。最後を描きたいな。冬、ごめんなさい。嫌な思いさせて。
冬 ちよつとびつくりしただけです。ごめんなさい。
松 龍は女心がわからへんから。
龍 すまん。
松 やっぱりええ先生や。
梅 いまさら分かったか。さ、早くして。
春 また集まれるかなあ。
シン 最後と違う。僕らはこれからや。
龍 竜馬は無駄に死んだのと違う。日本の夜明けに役立った。
春 ここままでは寂しいから、練習した曲、やろう。
冬 はい！
梅 早くしなさいよ。

音楽 「バッド・ハビット」 エド・シーラン
春と冬は踊り出し、皆も加わる。
非常ベルが鳴り渡る。
梅 待ってください。

突然照明が暗くなる。皆は騒いでいる。

校長の声 梅先生。もう時間です。引き上げてください。
梅 校長、待ってください。今から出て行くところなんです。
校長の声 警察の方々も到着されました。今から突入されます。全国で本校が初めての国家安全維持法の適用例となります。こんな名誉なことはありません。

暗闇の中で皆が騒いでいる。
「バッド・ハビット」と非常ベルが鳴り響いている。やがて読経の声と波音に変わっていく。
【再生くアクア】 闇の中で大きな青布がかぶってくる。やがて静寂。ゆつくりと朝陽が指してくる。
音楽 「アクア」 坂本龍一
布の下から。龍が出てくる。

龍 嵐は過ぎ去ったのか。おお、明るい太陽じゃ。あの大騒動、よう助かった。仏のご加護かのう。いや皆のおかげで助かったんじゃ。ありがたい。ありがたい。

リヨウが出てくる。

リヨウ

あー、なんと！ 助かった。すごい騒動じゃった。死ぬかと思った。

龍

おお、リヨウも無事か。ほんにすごい騒動じゃったのう。皆は無事か？

リヨウ

ああ、無事や。

龍

よかった。俺のせいで、巻き込んでしもて……。

リヨウ

違う、皆も自由が欲しいのよ。

龍

海はええのう。こんなに広くて、でつかくて、自由じゃ。

リヨウ

ほんに。自由じゃ。

龍

わしらはどうなんや？ 自由か？ 龍馬は志半ばで死んだ。わしらはどうすればええ？

リヨウ

わしらは生きてる。そして心の中には龍馬の志が生きてる。それだけでも自由や。国家安全法がなん

龍

じゃ。

リヨウ

また皆と劇を創れるかのう。

先生にも梅先生みたいな人もいる。創るのよ。

布の中からシンが出てくる。

シン

また創れるさ。

龍

シン！ お前も無事か。

シン

ああ、二人だけでなんしちゅうんじゃ。

龍

ははは…、シンも龍馬マニアになったのか。

シン

なったんやない。前から好きや。

龍

よかった。俺のせいですまん。

シン

権力は怖いなあ。

リヨウ

逆らうものは潰される。

龍

だが、しぶとく

リヨウ

しぶとく自由でいるんや。

シン

ああ。しぶとくな。

龍

文化祭は出来んようになったが……

リヨウ

来年は任せてください。やりますよ。

シン

ほお、遅しい。

リヨウ

皆で手を合わせて、

龍

気分だけではアカンのう。

シン

気分ではなく、一人一人が力を合わせないと、大きなものにはかなわない。

龍

ホンマそうやなあ。

リヨウ

でも若者は負けない。

龍

こんなことしてて、ちよつとは世の中、変わるのかなあ。

リヨウ

少しは変わる。きっと。

シン

僕はレンズを通して真実を伝えようと思う。そしたらきっと。

龍

そうやな。きつとちよつとずつ、変わるかなあ。うわあー！ 海と大空、ええのう。

リヨウ

ええのう。

奥の布の間から皆が出てくる。

皆

おーい！ おーい！

松

何してるんやあ。

龍 梅 龍 シン 龍

おおー、皆。また、一緒にやりたいなあ。
くよくよしない！

先生も一緒に！

一人一人を大切にせんとなあ。

そうや。アイ・ラヴ・ユーから始めんな。

音楽 「アイ・ラヴ・ユーから始めよう」 安全地帯

龍とシン、リョウがゆつくりと歩き始める姿が浮かんではいる。

皆は大きくエールをおくるように手を振っている。

幕